

～小学生が社長になってぼうし屋さんの経営を体験～
第5回「マニユライフCAPS(キャップス)経営コンテスト2010」決勝戦

**九州、関西、東海、関東の各地区予選を勝ち進んだ小学生代表8チームが、
帽子屋の売り上げ利益を争い熱戦！**

九州地区代表の、4年生・6年生混合チームがみごと全国優勝！

公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本（本部：東京都港区、代表理事 椎名武雄）主催、社会福祉法人中央共同募金会（会長 斎藤十郎）協力、マニユライフ生命保険株式会社（本社：東京都調布市、社長兼CEO クレイグ・ブロムリー）特別協賛による、第5回「マニユライフCAPS経営コンテスト2010」の決勝戦が、12月5日（日）、マニユライフ生命保険（株）本社（調布市）において開催されました。

今年で5回目の開催を迎える同コンテストは、ジュニア・アチーブメントが小学校高学年から中学生向けに開発した経営シミュレーション・プログラム「CAPS」をコンテスト形式で行うものです。小学4～6年生の子ども達だけでチームを作り、仮想の帽子屋さんを経営し、①ぼうしの値段 ②仕入れ数 ③宣伝広告費 ④ぼうしに刺繍を入れるためにレンタルする機械などを決め、累計の売上げ利益で業績を競い合います。

2006年の実施以来、おかげさまで参加者および関係者の方々より高い評価を頂き、今年はさらに開催地域を広げ、関東、関西、東海に加え、新たに九州エリアでも地区予選を開催しました。合計44チーム、計183人の児童が参加し、それぞれの地区予選で好業績をあげた8チーム（1チーム4名）、計32名の児童が、東京での決勝戦に臨みました。

決勝戦は、過去のコンテスト参加者の児童の姿も見かけられ、全チームにおいて集中した議論が最後まで続く緊張感のあるものになりました。全7回におよぶセッションでは、競技進展につれ、累計利益で競われる各チームの順位も変動を重ね、初回大赤字の業績でスタートしたチームが次第に販売業績を伸ばし上位にくい込んでくるなど、最後まで気の抜けない展開となりました。そうした中、初回セッションでも1位の販売利益を獲得し、最終セッションでも期間最高利益を上げた九州地区予選から参加の4年生・6年生チーム（チーム名「DREAM3HS」）、メンバー構成：4年生2名、6年生2名）が、接戦を制して見事優勝を飾りました。

優勝した九州チームは、「帽子の仕入れ値を下げすぎないように考えた。」「最初からずっと1位をキープし続けられたことが嬉しかった」とコメントをしています。

コンテスト終了後には表彰式が行われ、中央共同募金会の中島謙次常務理事、マニユライフ生命の森田均常務執行役員からの健闘をねぎらう言葉とともに、表彰状が子ども達に手渡されました。

このプログラムの目的は、チームでの話し合いを通じて、子ども達に、実社会の経済の働きやお金を得ることの難しさ、楽しさを実習する機会を提供するとともに、意思決定力、他人と違う意見を述べる勇気、自分と違う意見に耳を傾ける寛容性、リーダーシップ、チームワークなど、今後生きていく上で必要となる資質の重要性を実感してもらうことにあります。今後も、本プログラムの普及促進を図り、児童の社会的自立力の育成に取り組んでまいります。

第5回「マニユライフCAPSコンテスト2010」決勝戦 概要

- ◆主催およびプログラム提供／ 公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本
- ◆特別協賛／ マニユライフ生命保険株式会社
- ◆協力／ 社会福祉法人中央共同募金会
- ◆開催日時／ 2010年12月5日（日）
- ◆会場／ マニユライフ生命保険株式会社本社（住所：東京都調布市国領4-34-1）
- ◆参加資格および人数／
小学校4～6年生の男女。
決勝戦には、各地区予選の上位合計8チーム（1チーム4名）が参加。

◆決勝戦参加児童／

- 関東4チーム 16名（男子7名、女子9名：小学4年生2名、小学5年生12名、小学6年生2名）
- 関西2チーム 8名（男子4名、女子4名：小学5年生4名、小学6年生4名）
- 東海1チーム 4名（男子2名、女子2名：小学6年生4名）
- 九州1チーム 4名（男子2名、女子2名：小学4年生2名、小学6年生2名）

◆決勝戦アワード（チームメンバー全員に進呈）／

- 優勝：表彰状と図書カード20,000円分
- 準優勝：表彰状と図書カード10,000円分
- 3位：表彰状と図書カード5,000円分
- 4～8位：表彰状と図書カード2,000円分

◆『CAPS』プログラムについて

CAPSは、世界最大の民間の非営利経済教育団体、ジュニア・アチーブメント(JA)が小学校高学年から中学生向けに開発した経営シミュレーション・プログラムです。

<http://www.ja-japan.org/program/simulation/caps/manulife.html>

CAPSでは、チームメンバーがディスカッションしながら、ぼうしの値段、仕入れ数、宣伝広告費、ぼうしにししゅうを入れるのにどの機械をレンタルするかなどを決めて、パソコンに入力します。全チームの入力が済むと、各チームの業績が出され、それをもとにまた次期の戦略を決め、またその業績が出されるという実習を繰り返していきます。

なお、この「CAPS」プログラムは、学校の授業での使用を前提に、マニユライフ生命の特別協賛により学校向けに無償提供されるものです。本来の目的は、参加した子ども達に、実社会の経済の働きやお金を得ることの難しさ、楽しさを実習する機会を提供するとともに、意思決定力、他人と違う意見を述べる勇氣、自分と違う意見に耳を傾ける寛容性、リーダーシップ、チームワークなど、今後生きていく上で必要となる資質の重要性を実感してもらうことにあります。

CAPSコンテストの流れ

※①～④を繰り返し行います

- ①説明・資料配布
- ②ディスカッション
- ③データをパソコンに入力
- ④結果発表と解説



<真剣に話し合う子ども達>



<優勝したDREAM3HS（中央4名）と、マニユライフ生命の森田均常務執行役員（左）と、マニユライフ生命社会貢献活動キャラクター「マニユビー」(右)>



<決勝戦に出場した子ども達>

◆ジュニア・アチーブメントについて

1919年米国で発足した世界最大の経済教育団体で、民間の非営利活動を展開しています。日本本部の設立は1995年で、教材を導入する学校は全国に拡大しています。

社会情勢がいかように変化しようとも、子どもたちが「社会のしくみや経済の働き」を正しく理解し、自分の確たる意志で進路選択・将来設計が行えるよう、基本的資質（主体的に社会に適應できる力）を育むための支援を提供しています。詳しくは、ウェブサイト www.ja-japan.org をご参照ください。

◆マニユライフについて

マニユライフ生命保険株式会社（「マニユライフ生命」）は、マニユライフ・ファイナンシャルのグループ企業です。

マニユライフ・ファイナンシャルは、カナダを本拠とし、世界 22 カ国・地域で事業を展開している金融サービスのリーディング・グループです。マニユライフは120年以上にわたり、信頼に支えられ、その信頼に真摯に応える企業として、また力強さに満ち、明日を切り拓く企業として、人生で最も重要な資金面の決断を行う際の解決策を、世界各地のお客さまにお届けすることを目指してまいりました。同社職員、エージェンต์および販売パートナーの国際的なネットワークを通じて、世界各地の数百万のお客さまに経済的保障や資産運用・形成のための商品・サービスをご提供しています。また、世界各地の機関投資家のお客さまには、資産運用サービスのみならず、生命保険および損害・傷害保険の再々保険に特化した再保険の解決策もご提供しています。マニユライフ・ファイナンシャルとその子会社の管理運用資産は、2010年9月30日現在4,740億カナダドル（4,600億米ドル）となっています。カナダおよびアジア地域ではマニユライフ・ファイナンシャルとして、米国においては主にジョン・ハンコックとして事業を展開しています。

マニユライフ・ファイナンシャル社は、トロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびフィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、また、香港証券取引所では「945」で取引されています。マニユライフ・ファイナンシャルについての詳細は同社ホームページ（www.manulife.com）をご覧ください。マニユライフ生命のホームページは次の通りです。（www.manulife.co.jp）

◆中央共同募金会について

社会福祉法人中央共同募金会は、全国47都道府県共同募金会の連合体で、赤い羽根をシンボルとする共同募金運動の全国的な企画、啓発宣伝、調査研究、都道府県共同募金会の支援等を行っています。

また、寄付金の受入れおよび調整や、民間助成資金・公益信託などの取扱いを通して、民間福祉事業の推進に大きな役割を果たしています。NHKとの共催による「NHK歳末たすけあい」、ボランティア活動の推進なども行っています。